

令和3年度予算案ならびに関連議案について 意見表明を行いました。

令和3年3月17日



理由 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復を最優先し、神戸市独自の支援策を創設するなど、市民の命と健康を守ることに取り組むとされている点は評価します。

「スマート自治体」の実現に向けて作成された「行財政改革方針2025」に全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築し、市民生活の利便性向上と豊かさにつながることを期待し、令和3年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。

下記要望を付して承認しました

●水素スマートシティ神戸構想推進の観点から、公用車やバスへのFCV導入と、都心部への水素ステーション設置を推進すること。●人口減少社会においても市民サービスを維持するため、増税に頼らない増収策を検討すること。●切れ目ない子育て支援として、子育て、産前・産後のコミュニティー情報共有の場を、民間活用も含めて支援すること。●現在、コロナ禍で十分な支援を受けていない中小事業者がいることも踏まえて支援策を検討すること。●六甲山上の歩道を着実に整備することに加えて、車を寄せられるスペースを車道に整備すること。●六甲アイランドのAOIAの跡地利用については、活性化のために女子サッカーのスタジアムを建設し、各種イベントにも利用させると共に、大型商業施設や保育所等の誘致に努めること。●学校の見える化について、神戸のスマートシティの一つとして新しい技術で取り組むこと。●教育委員会は学級崩壊という問題に真摯に向き合い、日常的なPDCAサイクルのチェックによる検証と改善を継続的に行うこと。また学級崩壊の状態を早期に解消するため、組織的かつ迅速に対応する研修や訓練を行うこと。(その他合計14項目)

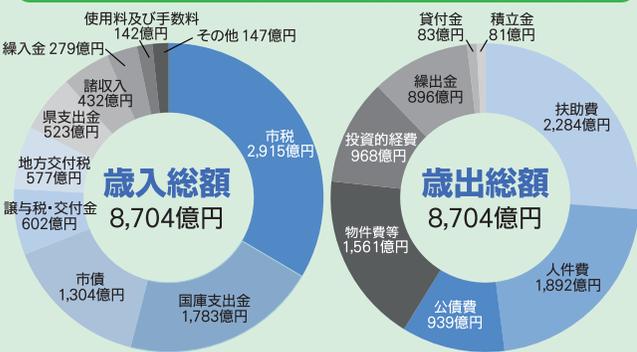
神戸市の予算 令和3年度

海と山が育むグローバル貢献都市の実現
予算総額: 1兆8,531億円

(前年比:-60億円)

- 一般会計: 8,704億円(前年比:+317億円)
- 特別会計: 6,535億円(前年比:-173億円)
- 企業会計: 3,292億円(前年比:-204億円)

一般会計予算の概要



一般会計の支出を 57万円にします

市民一人あたりにすると



新型コロナウイルス感染症対策における神戸市の対応方針 令和3年度第一弾 経済対策について主なものは下記の通りです。

●営業時間短縮や外出自粛要請等の影響により、売上が減少している中小事業者を対象に「家賃負担軽減緊急一時金(家賃サポート緊急一時金)」の支援(最大50万円)を実施する。●営業時間短縮の要請に応じた飲食店を対象にした「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」を県と協調して実施する。●飲食店での消費喚起及び非接触のキャッシュレス決済普及のため、中小規模の飲食店を対象に、QRコードを利用した支払いに対する市独自のポイント還元キャンペーンを実施する。●売上が減少している中小事業者を対象に事業所税の減免(1か月相当分)を実施する。

※詳細は神戸市のホームページへ



神戸市政報告

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

編集・発行:
自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL.078-322-5846
http://www.jimin-kobe.com

自由民主党神戸市会議員団
神戸市会議員

吉田健吾

灘区



本会議場で質問する
神戸市会議員 吉田健吾

令和3年第1回定例会市会の最終日(3月29日)、自由民主党神戸市会議員団を代表し、一般質問を行いました。ウラ面に議事録を掲載いたしました。ご一読ください。

ごあいさつ

新年度を迎えました。神戸市内におきましては新型コロナウイルスが猛威をふるい続けており、三回目の緊急事態宣言が発出されています。医療関係者、高齢者の皆様へのワクチン接種が始まりましたが、未だ感染が収束する兆しはみえていません。感染拡大防止対策と共に、神戸の再生・成長に向けた経済・社会活動の取り組みを強力に推進してまいります。

さて、さまざまな対応に追われるなか、令和3年第1回定例会市会が閉会いたしました。私は、予算特別委員会での局別審査、そして、最終日に市長はじめ関係当局に一般質問を行いました。質疑内容について、ウラ面に掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。これからも皆様の声をお伺いし、市政に反映させられるよう努力してまいります。

神戸市会議員 吉田健吾

市政報告

新型コロナワクチンの高齢者への接種は無料です 接種スケジュールが決まりました。

新型コロナワクチンは主に発症や重症化の予防が期待されています。神戸市では、集団接種会場のほか、市民に身近な病院や診療所でも新型コロナワクチンを接種できるように準備を進めています。

接種順は概ね以下の通りです(見直しあり)

- ①医療従事者
- ②75歳以上の方
- ③65歳以上の方
- ④基礎疾患を有する方
- ⑤利用者に直接接する高齢者施設等の職員
- ⑥60~64歳の方
(ワクチン供給量が満たされれば、基礎疾患を有する方と同じ時期)
- ⑦上記以外の方
(ワクチン供給量を踏まえ、順次接種)

ワクチン接種予約に関するお知らせ

予約は電話(078-277-3320)かインターネットで、全てセンターで行います。



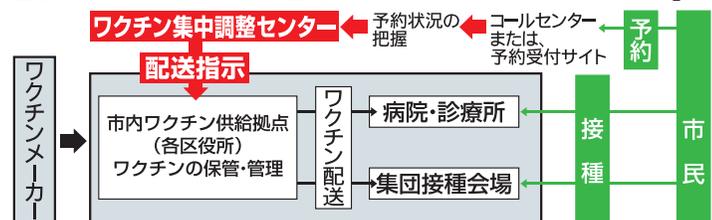
個別接種 身近な病院や診療所等(一覧表でご確認ください)
集団接種 JR灘駅 駅舎3階(6月以降)

	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17
接種券	■(4/19) 75歳以上の方(約24万人)へ発送 ■(5/17) 65歳以上の方(約19万人)へ発送				
予約受付	▶(4/20~) 神戸市新型コロナワクチン接種コールセンター 神戸市特設WEB予約サイト				
接種	▶(5/10~) 集団接種会場(12会場) ▶(5/17~) 診療所・病院(順次)				

ワクチン集中センターの設置

市内のワクチンを集中的、網羅的に管理し、診療所や病院等での市民の予約数に応じて、必要となるワクチンを無駄なく、きめ細やかに配送します。

■設置日:令和3年4月1日 ■場 所:「神戸名谷ワークラボ AOZORA」



新型コロナワクチン接種に関するご相談は...

新型コロナワクチン接種コールセンター

☎078-277-3320 | 電話での問い合わせが困難な方は、E-mail:pwd-vaccine-kobecity@persol.co.jp

受付時間 平日/08:30~20:00
土日祝/08:30~17:30

対応言語 日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語



感染症基本対策 普段からの 3つの心がけ

1 **1メートル未満の距離では、マスク会話とし、手洗いそして手指消毒をしましょう**

2 **人の集まる場所では、窓を開けて換気を心がけましょう。**

3 **熱がなくても、せきなどの症状があれば、外出を控え、仕事を休みましょう。**



令和3年 第1回定例会市会 本会議で

一般質問を行いました。

宿泊療養施設での入所者死亡について

■要望: 吉田健吾
3月21日、宿泊療養施設でお亡くなりになられた方がいらっしやいます。軽症だからということで入所され、そこで帰らぬ人となりました。第三者も交えた検証結果を踏まえ、万全の対応をしていただきたい。

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

■質問: 吉田健吾
英国型変異ウイルスは、従来型に比べて感染力が強く、子供も大人と同様に感染しやすいとの報道がされています。他の自治体より進んで変異株に対してのアクションを起こしている本市における現状について、見解を伺います。

■答弁: 久元喜造市長
WHOは、全ての年代で感染しやすくなっているが、他の年代に比べ子供たちのリスクが高いということはないとの見識を示しており、それは日本小児学会においても同様です。今後も変異株を含む新型コロナ感染症の拡大防止に努めていきたい。

■質問: 吉田健吾
変異株の事例を具体的に示すことによって不安を少しでも軽減させることができないのか、また、より一層の注意喚起をすることができないのか。見解を伺います。

■答弁: 久元喜造市長
変異株に関する情報は、恐らく全国の自治体の中で神戸市が最も詳しく提供しています。どのような場面で感染し、どういうふうに広がっていったということをホームページなどで情報提供を行いたい。

■質問: 吉田健吾
介護施設クラスターも大きな問題の1つであると認識しています。入居者が新型コロナウイルスに感染しても、病院の受入調整に時間がかかり、数日間施設の中で介護職員が看護しなければならぬ。本来であれば迅速に入院させるべき。感染がそれ以上広がらないよう、さらなる取組をしていただきたいと考えます。見解を伺います。

■答弁: 久元喜造市長
昨年初、国から方針を示される前にPCR検査を行いました。この度、対象を大幅に拡大し、間隔も一月程度にしました。複数の検体を検査し、これを民間の検査機関に委託する方法も導入いたしました。しっかりとPCR検査をしていくことが重要と思います。また、感染が発生した場合、保健所が介入し、必要な対応を行っています。

■要望: 吉田健吾
プール検査などもされていくということですが、例えば何人か同じユニットで働いている職員の方々に検査をしてみようと、そこで誰かが陽性ということになれば、機能は停止する。高齢者施設を安定的に運営するにはどうしたらいいのかということ念頭に置いた取組であっていただきたい。

2. 計画等の目標設定と年度ごとの見直しについて

(1) 神戸2025ビジョンについて
■質問: 吉田健吾
7つの目標とそれに伴う数値目標や、具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)などの設定がされていますが、実効性ある取組が困難な推計値や、アンケート調査の結果等を用いる例が見受けられます。目標に対する成果を具体的にどのように評価するのか、また各年度の見直しでは、目標を達成するために、目標から逆算した検討を行うべきと考えますが見解を伺います。

■答弁: 恩田 馨副市長
他都市と差別化を図ることができるテーマとして、「海と山が育むグローバル貢献都市」を設定するとともに、雇用創出などの客観的な指標と併せ、子育て、環境、教育などに対する市民の満足度、こういったアンケート調査から得られるような主観的な指標も設定しました。年度ごとの数値の推移を分析することにより目標達成見込みを評価していきたい。

■質問: 吉田健吾
KPI等が追いにくい数値であっても、例えばアクションプランなどで、数値目標をプラスすることで、職員の方々が働きやすくなるのではないかと。見解を伺います。

■答弁: 恩田 馨副市長
企画調整局が中心になり、数値目標に対して職員の意識を向上させていきたいと考えています。アクションプラン等の策定について、目標達成に向けたロードマップ的なものを職員間で共有していくことは進めていきたい。必要に応じて組織横断的なプロジェクトチームを立ち上げるなど、職員一丸となってこのビジョンの目標達成に努めていきたい。

(2) 六甲山ランドデザインについて

■質問: 吉田健吾
新型コロナウイルスの感染拡大により、社会環境が大きく変化し、六甲山をはじめ自然に対するニーズが高まり、重要性がますます高まっています。新たな施策の追加や、既存施策の見直しの必要性はないのか見解を伺います。

■答弁: 久元喜造市長
様々な施設の改修、リニューアルが進んでいます。また昨

年は光回線が開通。4月からは水道料金の大幅引き下げ。いろいろな動きが出てきて、六甲山上は大きく変わりつつあります。一方で特に摩耶山については課題が残っている。ランドデザインの方向性を踏まえ、整備していきます。

■質問: 吉田健吾
「見える化」をキーワードにすると、市長に記者会見をしていただくのが一番大きな効果があるが、施策それぞれがどうなっているかを、簡単にアクセスできるような方法も検討いただきたい。また、海外を視野に入れた情報発信が必要であると思います。見解を伺います。

■答弁: 久元喜造市長
六甲山上スマートシティ構想については、既に英語の動画も作っています。これを幅広くアップしていきたい。例えばメディアカロイドの取組などは、在外公館に必要なデータも送って、総領事や大使にも御覧いただく取組もしています。海外への発信を強力に行っていきたい。

■要望: 吉田健吾
海外から六甲山への進出ということもぜひ取り入れていただきたい。スマートシティの推進とともに、六甲山自体の魅力を全世界に向けて発信していただきたい。

3. 青少年科学館リニューアルについて

■質問: 吉田健吾
開園から35年。来年度にはプラネタリウム、第2展示室などのリニューアルが予定されている。目指すべき将来像を明らかにした上で、計画的にリニューアルを行うべきと考えますが取組状況についてお伺いします。

■答弁: 長田 淳教育長
平成24年度にまとめた「これからの科学館づくりの構想」に基づき、「ふれる・つくる・つながる」を掲げ、科学好きな子供と未来を担う人材の育成に寄与する科学館づくりを目指しています。

プラネタリウムは、迫力ある映像が投影できる最新鋭機器を投入し、幅広い世代やニーズに対応したマルチドームシアターに。第2展示室等は、AIやロボット、映像技術などを取り入れ、最先端技術を体験できる空間とするよう検討している。

■質問: 吉田健吾
構想がまとめられた平成24年から、社会環境は大きく変化しています。アップデートが必要ではないか。神戸市に集積している産業、大学、その最新技術やスタートアップの取組なども加えれば、より一層市民に親しまれる施設になると思います。ご見解いかがでしょうか。

■答弁: 長田 淳教育長
医療産業関連など市内に集積する企業、研究機関、大学との連携を図ることが効果的であると考え、市長部局の関連部署と協議を行っています。構想策定から8年が経過しており、今後の青少年科学館の在り方を十分に考えていく必要性があると認識しています。

■質問: 吉田健吾
先日、「世界の果てまでイッテQ!」というTV番組で、イモトアヤコさんが神戸高専の「万能真空吸着グリッパ」というものを壁に吸着させ登るシーンがありました。青少年科学館

で、神戸市の高専で発明されたものを展示したり、生徒の方々の作品を子どもたちが使えるようにすることで、大きく訴求するのではないかと思います。見解を伺います。

■答弁: 久元喜造市長
教育委員会と連携し、早く見違えるようなものになるよう取組たい。あわせて、高専も大変老朽化しておりまして、これも併せて取り組んでいかなければいけないと思います。



4. 新安定的な中学校給食の全員喫食制に向けて

■質問: 吉田健吾
全員喫食制の実現には、多額の財政負担が生じると予想され、財政負担とのバランスにも配慮しながら、民間活力の活用を念頭に、新たな実施方式を検討する必要があります。将来にわたって安定的な給食の実施体制を構築する観点から、経済性及び効率性に配慮するとともに、長期的なビジョンを持って検討を進めていくべきと考えますが、見解をお伺いします。

■答弁: 長田 淳教育長
現在のランチボックス方式を改め、主食と全ての副食を温かい状態で提供し、量の調整にも対応できる方式による全員喫食制への移行に向けて取り組んでいます。生徒、保護者のニーズを十分踏まえ、初期投資に加えて、運営に係る費用も含めたトータルコスト、また、実現に要する期間などを十分に検証しながら、検討を進めてまいりたい。全員喫食制への移行に向けた基本方針を本年秋頃までに策定したい。

5. 教員の多忙化対策について

■質問: 吉田健吾
多忙化解消のため、時間を意識して業務に向かう姿勢が重要になるのではないかと考えています。指定モデル校において、教職員の1日の勤務実態を詳細に把握・分析し、業務改善支援策を検討したと聞いています。分析結果を踏まえ、今後の取り組み方針を伺います。

■答弁: 長田 淳教育長
小学校1校、中学校1校の2校のモデル校で、教職員との対話、アンケート、ワークショップなどにより、勤務実態の把握、また課題の抽出を行うとともに、教職員が業務改善について主体的に考えることができるように支援する取組を進めました。来年度、各学校に働き方改革の推進リーダーを置き、ワークシートを用いて教職員個人の働き方を可視化し、分析を行うことなどによって、タイムマネジメントの重要性を学校現場に浸透させていきたい。

神戸市会議員 灘区

吉田健吾

神戸市会議員 吉田健吾事務所
〒657-0835 神戸市灘区灘北通3-2-8 Tel.078-861-5566

本会議・委員会のインターネット生中継・録画中継をご覧ください。 神戸市会

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

神戸市会の傍聴について 新型コロナウイルスの屋内感染防止のため、本会議及び委員会の一般傍聴をご希望される方は、手洗い・アルコール消毒・マスクの着用、ならびに座席の間隔を空け、身体的距離を確保してお座りいただくようご協力をお願いいたします。また、発熱(37.5℃以上)など、風邪症状があるときは、傍聴をご遠慮ください。

手続き 市役所1号館25階で、開会の1時間前から受付します。

